



北海道薬業運送効率化協議会

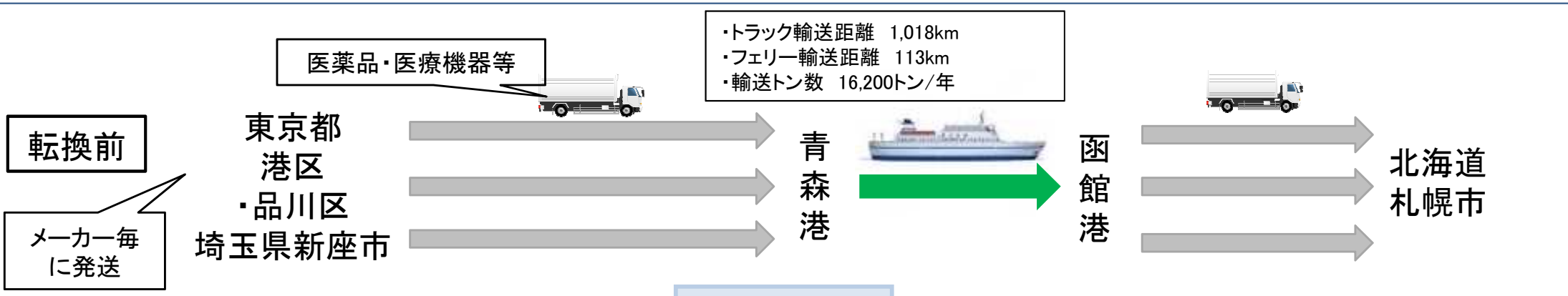
協議会メンバー

三菱倉庫(株)、旭運輸(株)、他医薬品メーカー

事業内容

東京都港区等から北海道札幌市への医薬品・医療機器等の輸送について、トラックから海上輸送に転換する総合効率化計画の策定を行う。

経路



特徴

- 海上輸送へのモーダルシフト
- 港区拠点へ貨物を集約することによる混載輸送・車両の大型化

効果

○CO2排出削減量 2,201 t-CO2 / 年 (68%削減)

革新的コンテナ「氷感SO庫」の普及推進協議会

協議会メンバー

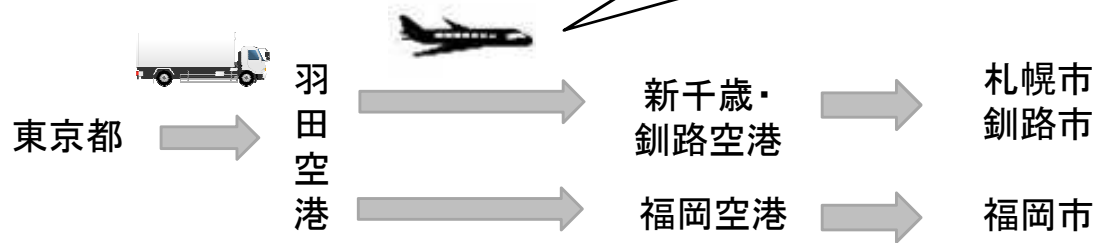
佐川アドバンス(株)、佐川急便(株)、(株)ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス、日本貨物鉄道(株)、全国通運(株)
(一社)日本事業者団体連合会

事業内容

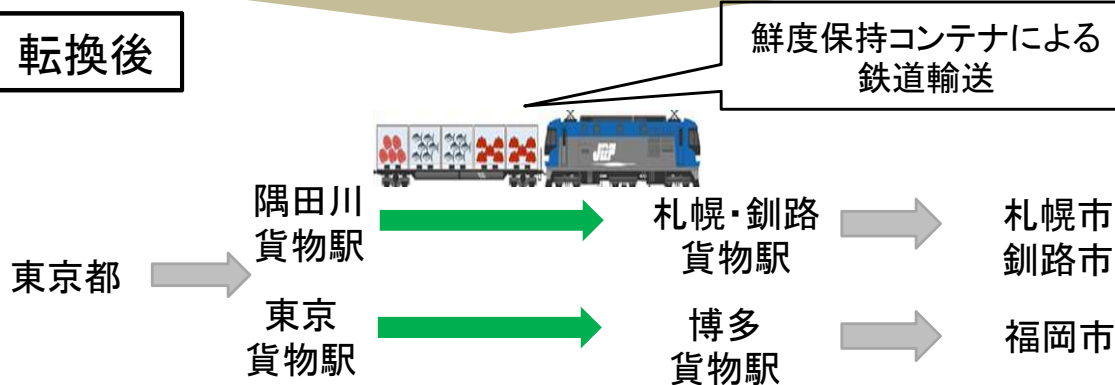
東京都から北海道及び九州への生鮮品の輸送について、航空機等から新技術を活用した鮮度保持コンテナによる鉄道輸送に転換する総合効率化計画の策定を行う。

経路

転換前



転換後



鮮度保持コンテナ“氷感SO庫”

- 鮮度保持機能付き鉄道用12フィートコンテナ
- 氷感システム(※)により、凍らせずに食品などの鮮度を維持して保管と輸送が可能

⇒ 鮮度維持が難しく、これまで鉄道で輸送できなかった生鮮品も、輸送可能になる。

(※) 冷蔵したコンテナ内部に、高電圧・低電流を印加することにより、微生物の増殖を抑え酸化を緩やかにするとともに、凍結点でも凍らせず、食品などの鮮度を維持し長期間保存が可能。



特徴

- 新技術を活用した鮮度保持コンテナによる鉄道輸送

効果

- CO2排出削減量 13t-CO2 (98%削減)

※ 排出削減量は補助対象期間(H29.1.2)の値

柏・沼南HBステーション
総合効率化計画策定
協議会

協議会メンバー

- ・佐川急便(株)
- ・(株)日立物流首都圏

事業内容

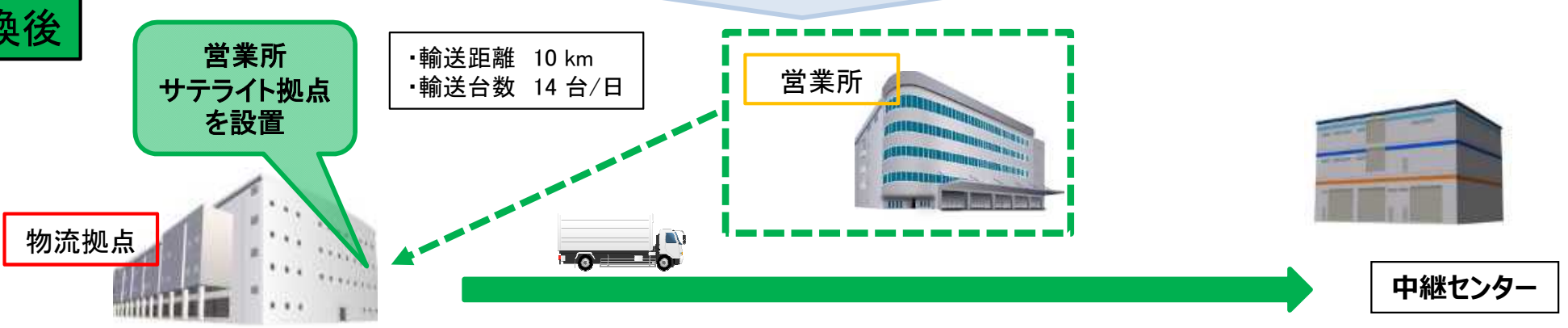
千葉県沼南地区の宅配便貨物の集荷等について、新たなセンターの荷主事業所内への設置により、集配車両の走行距離の削減を行う総合効率化計画の策定を行う。

経路

転換前



転換後



特徴

- 物流拠点内に営業所のサテライトを開設、集配車両を効率化
- 出荷待機スペースの有効活用
- 物流集中の緩和による省力化、渋滞回避による車両運用効率向上

効果

○CO2排出削減量 3.44 t-CO2 (57%削減)

※ 排出削減量は補助対象期間(H28.11~H29.1)の値

平成28年度モーダルシフト等推進事業 採択案件事例 4 国土交通省

アサヒ・キリン北陸物流
協議会

実施事業者

アサヒビール(株) / キリンビール(株)
日本通運(株) / 日本貨物鉄道(株)

事業内容

北陸エリアへの飲料輸送について、同業他社(アサヒビール・キリンビール)が連携して、トラック輸送から、鉄道貨物の利用率が低い下り路線の輸送力を活用した共同モーダルシフトを実施する。

実施前

アサヒビール
名古屋工場

キリンビール
名古屋工場



250km、4,000トン



190km、3,500トン

石川県
富山県

凡例

トラック

鉄道輸送

実施後

アサヒビール
吹田工場

10km、
計4,000トン

キリンビール
神戸工場

50km、
計3,500トン

吹田貨物ターミナル駅



250km、計7,500トン

金沢貨物ターミナル駅

10km、
計7,500トン

専光寺物流センター
日本通運

石川県
富山県

主な供給工場を関西エリアに変更

北陸エリア行き下り路線の有効活用

共同配送センターの開設

特徴

- 同業他社の連携による共同モーダルシフト
- 大きなシェアを占める企業の協同による啓発性
- 鉄道貨物の利用率の低い下り路線の輸送力の有効活用

効果

- CO2排出削減量 140 t-CO2 (49%削減)
排出削減量はモーダルシフト推進事業の補助対象期間(H29年1月2月)の値。1月16日認定の総合効率化計画では、将来的にキリンビール滋賀工場からの貨物も対象とすることにより、年間で2,700t-CO2の削減を見込んでいる。